



学校だより 1月号

令和5年1月10日

横浜市立六つ川小学校

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/mutsukawa/>

学校教育目標

みんなでチャレンジ 六つ川の子
(地域を愛し、主体的に考え行動する人を育てます。)

2023年スタートにあたり

校長 妹尾 正彦

明けましておめでとうございます。2023年、年の初めにあたりまして、六つ川小学校の子どもたち、保護者のみなさま、地域のみなさまのご多幸とご健勝を心よりお祈り申し上げます。

さて、新年恒例の箱根駅伝では、駒澤大学が2年ぶりに総合優勝となり、史上5校目の学生3大駅伝「三冠」を達成しました。駒澤大学陸上部は「平成の常勝軍団」と言われ、現監督の大八木弘明氏がコーチに就任して2005年まで箱根駅伝4連覇、2008年にも優勝をしました。しかし、その後13年間、3大駅伝の出雲駅伝と全日本大学駅伝を制して「三冠」のチャンスは何度かありながらも、箱根駅伝で優勝することはできませんでした。



では、なぜ、2021年に箱根駅伝優勝、そして2023年「三冠」を達成できたのか。逆の言い方をすれば、なぜ13年間も優勝から遠ざかったのかという問いに、大八木監督は「指導に驕りや甘えがあった」と答えています。「これまでの自分の指導で常勝軍団を作り上げることができたのだから、この指導を続けていけば大丈夫という、知らず知らずのうちに安定志向に入ってしまった。」と。

駒澤大学陸上部が2018年箱根駅伝で2度目のシート落ちをしたときに、自分の指導に対する情けなさ、自分自身の指導の在り方を猛省し、60歳を機にもう一回原点に戻って「安定志向はダメ。常に挑戦して自分を変化させていかなければ…」と決心したそうです。それまでは、自分の考えを一方向的に伝える形で行ってきた指導を、体はきついけど選手の毎朝の13キロの走り込みに自転車で並走したり、コミュニケーションを常にとることを意識したりしながら、子どもたちに納得させるような指導の仕方にどんどん変えていったそうです。

教育には「不易」と「流行」があります。こうすれば必ず上手いくというものはありません。特に指導方法については、「時代」そして「子ども」に応じて変化させていかなければなりません。私たち六つ川小学校教職員も「これまでこうやってきたから」ではなく、真摯に自らの教育活動を振り返り反省するとともに、子どもたちの意見や、先月みなさまにお願いしました「学校評価アンケート」、そして学校運営協議会やくすのき会での地域や有識者のみなさまからのご意見も踏まえて、より良い教育活動ができるよう変化させていかなければと思っています。

本年も教職員一同、子どもたちの成長を願い、創意工夫して教育活動に取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。